

2022 年度
教職課程
自己点検・評価報告書

2023 年 3 月
城西国際大学

城西国際大学 教職課程認定学部・学科一覧

学部・学科・コース		免許状の種類・教科			
		幼稚園教諭 一種	中学校教諭 一種	高等学校教諭 一種	養護教諭 一種
経営情報学部	総合経営学科		社会	公民	
			保健体育	保健体育	
国際人文学部	国際文化学科		国語	国語	
			社会	地理歴史	
	国際交流学科		英語	英語	
福祉総合学部	福祉総合学科 子ども福祉コース	幼稚園			
看護学部	看護学科				養護

大学としての全体評価

城西国際大学は、1992 年の開学以来、建学の精神である「学問による人間形成」及び教育理念として「国際社会で生きる人間としての人格形成」を掲げ、幅広い国際的視野と高度な専門的知識・技能を兼ね備えた教員の育成を目標としている。各学部・学科での専門教育と海外留学やインターンシップ、各種実習、地域・社会貢献、高度教養教育等を通して、国際的かつ学際的な視点を涵養し、広く社会の諸分野でリーダーシップを発揮できる教員を輩出してきた。

現在では、経営情報学部、国際人文学部、福祉総合学部、看護学部で教職課程を設けており、それぞれの学部での学びと関連した多彩な教職免許を取得できるようになっている。また、模擬授業や情報収集を実施できる教職支援室の設置や、教員採用試験対策講座の実施、さらに 2023 年度からは教員採用試験の模擬試験の導入など、教職を目指す学生へのサポートの充実を図っている。

今後も学生が主体的に自己研鑽し、社会に優れた教員を輩出できるよう、教職支援体制の整備を進めて参りたい。

城西国際大学

学長補佐（教務担当部長） 亀山 浩文

目次

I	教職課程の現況及び特色	1
II	基準領域ごとの教職課程自己点検評価	3
	基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み	3
	基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援	5
	基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム	7
III	総合評価	9
IV	現況基礎データ一覧	10

I 教職課程の現況及び特色

1 現況

(1) 大学名：城西国際大学

(2) 所在地：千葉東金キャンパス（千葉県東金市求名1番地）

東京紀尾井町キャンパス（東京都千代田区紀尾井町3-26）

(3) 学生数及び教員数（2022年5月1日現在）

学生数：経営情報学部 教職課程履修 143名／学部全体 1556名

国際人文学部 教職課程履修 52名／学部全体 784名

福祉総合学部 教職課程履修 52名／学部全体 610名

看護学部 教職課程履修 39名／学部全体 425名

教員数：経営情報学部 教職課程担当（教職・教科とも）3名

／該当学部全体 57名

国際人文学部 教職課程担当（教職・教科とも）5名

／該当学部全体 47名

福祉総合学部 教職課程担当（教職・教科とも）6名

／該当学部全体 80名

看護学部 教職課程担当（教職・教科とも）2名

／該当学部全体 53名

2 特色

城西国際大学では、2022年度では286名の学生が教職課程を履修し、内訳は社会科教員免許課程29名、公民科教員免許課程22名、保健体育科教員免許課程120名、国語科教員免許課程11名、地理歴史科教員免許課程9名、英語科教員免許課程57名、幼稚園教員免許課程52名、養護教員免許課程39名となっている。特に、保健体育科取得希望者が教職課程生に占める割合の約42%に上っている。

設備面では、教職支援室を設置し、採用試験の過去問題集や教科書、教職雑誌等を多数蔵書し、多くの教職学生が集う情報提供の場となっている。また、学生同士で学習会の実施や、教員と面接練習をおこなっている。

資格取得支援として、教員を目指す学生を対象に、「教員採用試験対策講座」を開講している。教職、一般、専門教養、小論文、面接等を学ぶことができる。授業とは別に開講し、専門の講師が教員採用試験に合格するためのノウハウを指導している。また、2023年度からは教員採用試験の模擬試験を導入し、教員採用試験の合格者数を伸ばすようにする。

地域との連携として、教職インターンシップ・学習チューター制度を導入してい

る。東金市教育委員会と連携し、教育実習前に現場体験をすることが可能となるプログラムである。空いている時間を利用し、教職インターシップでは中学校・高等学校、学習チューターでは、小学校・中学校に、毎週1回、授業、部活動、事務の補助活動等をおこなっている。参加学生は、教職への士気が高まり、より一層、教員を目指すようになる。なお、インターンシップでは、一定の時間数を確保できた場合、単位認定もおこなっている。さらに、千葉県・千葉市が実施している研修「ちば！教職たまごプロジェクト」への参加を学生に促し、千葉県・千葉市の学校での教員を目指す学生を支援している。

各学部の教職課程の理念等

2-1 経営情報学部

本学部は、グローバルとローカルの統一的な視点を持ち、「考える力」「気づく力」「創り出す力」と実行力豊かな「マネジメント力」を備えた教員を目指している。国際的な視点を持ち、ビジネス領域に加え、公的機関や非営利組織、スポーツ・健康分野、消費生活、情報通信という様々なマネジメントを学ぶことで、幅広い視野と知識、管理能力を身につけた教員を養成する。

2-2 国際人文学部

本学部は、グローバル化社会に対応すべく、言語力とグローバル・センスを有し、国際社会で強いリーダーシップを発揮できる教員の養成を目指している。国際文化学科では国際的な視野と語学力、異文化理解力を有し、柔軟な発想と行動力を備えた教員を養成する。国際交流学科では実践的な語学力と国際交流のための知識とコミュニケーション能力を身につけた教員を養成する。

2-3 福祉総合学部

本学部は、国際大学において、世界共通の福祉の学びをとおして、異文化理解と受容力を習得し、グローバル化社会を担う教員の養成を目指している。社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士などの国家資格で求められる福祉知識に加えて、多様な社会問題を主体的に考察し、さまざまな立場から現代社会を教授することができる教員を養成している。

2-4 看護学部

本学部は、児童生徒の心身の発達と社会との関係を理解し、健康を守り、発達を促進し、児童生徒が健やかな状態で学習活動を展開できるような支援者としての養護教員の養成を目指している。健康と教育に関する専門的な知識と技術に加えて、薬学の知識、福祉の知識を有し、コミュニケーションによる対人関係構築能力を基盤とした思いやりのある養護教員を養成する。

Ⅱ 基準領域ごとの教職課程自己点検評価

基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

基準項目 1－1 教職課程教育の目的・目標の共有

〔現状説明〕

本学では、教職課程を設置する学部教員からなる教職課程運営委員会を組織している。定期的に委員会を開催し、教育実習に参加する学生などをはじめとした各種情報共有を図っている（資料 1－1－1）。担当部署は教務部教務課である。

また、2017 年度から毎年、『教職課程年報』を作成し、本学教員による教職課程に関する論文や教育実習に参加した学生の報告など、教職課程を目指す学生にとって参考となる情報が記載されている（資料 1－1－2）。

〔長所・特色〕

上記の教職課程運営委員会により、教職課程に関連した情報共有ができている。また、ICT も活用し、教職課程運営委員会の構成員で情報共有ができる体制を整えている。

教職課程の運営においては、教務部教務課も履修学生の学生支援などに関わり、教職協働を実現している。

〔取り組み上の課題〕

教職課程に関わる教職員では目的・目標の共有ができていると思うが、本学が目指す教師像を十分に学生に周知し、教職を目指す学生を増やすことができるよう、より組織的な対応を検討したい。

<根拠となる資料・データ等>

- ・ 資料 1－1－1：2022 年度 委員会活動計画書・報告書
- ・ 資料 1－1－2：[教職課程年報（「情報公開」ページ内）](#)

基準項目 1－2 教職課程に関する組織的工夫

〔現状説明〕

本学の教職課程に関する組織として教職課程運営委員会を設置しており、教育面では担当教員が、事務面では教務部教務課が分担して運営をおこなっている。

設備面では、採用試験の過去問題集や教科書、教職雑誌等を整備した教職支援室を設置し、学生が自主的に学習できる環境を整えている（資料 1－2－1）。

また、本学のポータルシステムである「JIU ポータル」で学生へ連絡ができるようになっており、教職課程に関する連絡等も JIU ポータルを通じてスムーズに行っ

ている。授業評価についても JIU ポータルを通じて行っており、収集や分析等がしやすい環境になっている。

〔長所・特色〕

教職協働での運営体制が整っており、教員・職員それぞれの役割を担いつつ、教職課程運営委員会を通してコミュニケーションすることで本学教職課程の運営で不備がないようにしている。

また、ICT を活用した連絡体制を整えており、教員や学生へスムーズな連絡ができるようになっている。

〔取り組み上の課題〕

教職支援室の利用状況が芳しくないため、学生が利用しやすくなるよう、運営体制を工夫していきたい。

<根拠となる資料・データ等>

・資料 1－2－1：[教職支援室](#)

基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援

基準項目 2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

〔現状説明〕

大学案内やホームページで本学の教職課程の情報を発信しており、教員免許状の取得が目指せる大学であることをアピールしている。

入学者については、新入生オリエンテーションで教職課程に関心のある学生に対して説明を行っている。教職課程履修者に『教職課程履修要綱』を配布し、教職課程の履修方法などを指導している（資料 2-1-1）。

また、履修カルテを電子化しており、学生の学習状況を確認して履修指導をしている。

〔長所・特色〕

新入生オリエンテーションの教職課程説明はオンデマンドの動画で実施しており、少しでも関心がある学生が視聴しやすいものになっている。

本学が使用しているシステムで資格登録が可能となり履修カルテも電子化した。履修カルテと科目を紐づけることで、教員も学生の学習状況を把握することができ、履修指導にもつなげていくことができるようになった。

〔取り組み上の課題〕

教職課程を目指す学生数を増やすことができるよう、教職課程の魅力発信や説明などを今後も工夫していきたい。

また、教職課程を履修した学生が意欲低下等により途中で履修を取りやめるようなことがないよう、適切な履修指導について検討したい。

<根拠となる資料・データ等>

- ・ 資料 2-1-1 : [2022 年度 教職課程履修要綱](#)

基準項目 2-2 教職へのキャリア支援

〔現状説明〕

教務部教務課で学校等から届いた教員採用の掲示を行い、学生へ教員採用情報を提供している。

教職支援室の活用として、教員採用試験対策講座及び勉強会を実施し、講師も招いて志願書類の添削をおこなった（資料 2-2-1）。新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、ハイフレックスで実施することで希望する学生に合わせて勉強会を実施している。

またその延長線上で、より試験に対して具体的な印象を持ってもらうべく、2023

年度から教員採用模擬試験の実施を予定している。また、この模擬試験は教職課程履修者全員が実施することで、学生意識向上にもつながるのではないかと期待できる。

〔長所・特色〕

教員採用試験対策講座及び勉強会は全学部が対象であり、教職を目指す学生が集まって受講することで、学生のモチベーションの向上が見込める。

また、2023 年度から実施予定の教員採用模擬試験により、教員に採用される学生数の向上が期待される。

〔取り組み上の課題〕

教員採用情報の提供について、情報収集に努めるとともに、より効果的な情報発信を検討したい。

教員採用試験対策講座や勉強会等の参加は任意のため、時期によっては参加者数が少ない場合がある。学生をより増やせるよう、内容をアピールしていきたい。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 2－2－1：[教員採用試験対策講座](#)

基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

〔現状説明〕

教職に係わる授業科目は「教育の基礎的理解に関する科目等」（養護教諭課程は「養護に関する科目」）、「教科及び教科の指導法に関する科目」（幼稚園教諭課程は「領域及び保育内容の指導法に関する科目」、養護教諭課程は「養護に関する科目」）、「大学が独自に設定する科目」、および「文部科学省令に定める科目」からなり、教職課程のある学部・学科に配置している（資料 3-1-1）。

授業内容や評価方法はシラバスに明示しており、教職課程の科目を履修にあたって身につけるべき内容を提示している（資料 3-1-2）。

教職課程運営委員会や、学生による授業アンケート、教員による授業評価アンケートなどを通じて、適宜授業内容の改善を図っている。

〔長所・特色〕

『教職課程履修要綱』に単位の修得及び履修方法を明示しており、適切な教職課程カリキュラムを運用できるようにしている。また、同要綱で教育（養護）実習の受講要件として、ふさわしい学業成績（3 年次終了時点で GPA2.00 以上）を有していることなども明示しており、適切な人材を教育現場に輩出できるよう学生を指導している。

〔取り組み上の課題〕

教育（養護）実習に GPA2.00 以上を求めていることから、それに対応した学生指導が必要である。学生の履修状況を定期的に確認し、適切なタイミングで指導ができるようにしたい。

また、教員採用試験の早期化に伴う指導等の対応も課題であるため、今後検討したい。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 3-1-1：[学生便覧](#)
- ・資料 3-1-2：[シラバス検索](#)

基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

〔現状説明〕

実践的指導力の育成として、先述の通り、本学では東金市教育委員会と連携し、教職インターンシップ・学習チューター制度を導入している（資料 3-2-1）。

また、千葉県・千葉市が実施している研修「ちば！教職たまごプロジェクト」へ

の参加を学生に促し、千葉県・千葉市の学校での教員を目指す学生を支援している。

介護等体験では主に東金市内にある千葉県立東金特別支援学校の協力をいただ
いて実施している（資料３－２－２）。

〔長所・特色〕

本学では地域連携推進センターを設置しており、全学的に地域と連携した取り組みに力を入れている。教職課程においても先述の通り地域と連携した取り組みをおこなっており、県外出身の学生が千葉県内の教員として採用されるなど、地域に根差した人材育成に貢献している。

〔取り組み上の課題〕

本学としては早期体験で意欲の向上を見込んで実践的指導力を育成できる環境を整えるようにしているが、そのようなプログラムに参加する学生数が芳しくない場合があることから、学生にプログラムの魅力をアピールする必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料３－２－１：[教職インターンシップ・学習チューター制度](#)
- ・資料３－２－２：介護等体験ガイダンス資料

Ⅲ 総合評価

本学は 1992 年の開学初年度に課程認定を受け教職課程を開設するなど、教員養成に力を入れてきた。進路選択のひとつとして教職を考える学生も少なからずおり、教職課程を開設していることは学生にとっても有意義なものであると考える。

少子化や ICT 教育の普及等、社会構造の変化により、教育現場に求められる教員の資質もより高いものになっている。本学でもそのような変化に対応した実践的指導力を持った人材を輩出できるよう、今後も教職課程を適切に点検・評価し、改善につなげていきたい。

IV 現況基礎データ一覧

大学名称	学校法人城西大学 城西国際大学				
学部・学科名	国際人文学部	国際文化学科			
		国際交流学科			
	観光学部	観光学科			
	経営情報学部	総合経営学部			
	メディア学部	メディア情報学科			
	薬学部	医療薬学科			
	福祉総合学部	福祉総合学科			
		理学療法学科			
看護学部	看護学科				
1.卒業者数、教員免許状取得者数					
① 昨年度卒業者数					1279
② ①のうち、免許状取得状況					97
③ ①のうち、就職者数					767
④ ①のうち、教職に就いた者の数					18
⑤ ③のうち、正規採用者数					9
⑥ ③のうち、臨時任用者数					9
2.教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他
教員数	101	81	237	65	9